

こうつ

市議会だより

郷田小学校 6年 甚田樹里愛



2021.8
No.148

玉江大会終了後の郷田小学校6年生

令和2年度 一般会計補正予算(第15号)

3月31日 専決処分



減債基金や公共施設等整備管理基金などを積立。

補正予算額 **2億5495万円**(補正後総額215億5035万円)

令和3年度 一般会計補正予算(第1号)

4月6日 専決処分



新型コロナウイルス感染症対策や江津中学校校舎空調設備改修工事などに要する経費。

補正予算額 **1億5053万円**(補正後総額151億6753万円)

子育て世帯生活支援特別給付金

ひとり親世帯の子ども
1人あたり5万円を給付。 **2414万円**

新型コロナウイルスワクチン接種事業

ワクチン接種や輸送、
管理委託料。 **5304万円**

中小企業等持続化応援金(第2弾)

事業継続する意志の
ある事業者を支援。 **2000万円**

中学校教育施設整備事業

江津中学校の空調
設備改修。 **5016万円**

委員質疑

問 改修完了までの間の対応は。

答 仮設エアコンの設置などを検討している。



江津中学校の室外機

令和3年度 一般会計補正予算(第2号)

4月19日 専決処分



サテライトオフィスの整備と誘致にかかる経費のうち急を要するもの。

補正予算額 **605万円**(補正後総額151億7358万円)

地域の活力創出事業

誘致促進プロモーション
活動業務委託料。 **536万円減額**
(補正後8727万円)

サテライトオフィス等整備推進事業

実施設計業務委託料。
誘致促進プロモーション
活動業務委託料。 **1141万円**

令和3年度 一般会計補正予算 (第3号)



当初予算編成後、国や県補助金など確定した事業を計上。

補正予算額 **1億509万円**(補正後総額152億7867万円)

サテライトオフィス等整備推進事業

地場産センターおよび民間施設 (SUKIMONO 株) を活用したサテライトオフィス等整備への補助金。

6457万円

委員質疑

問 民間施設改修に、2000万円もかかればそれに見合うオフィス賃料も必要。地場産センターと併せての賃料の設定は。

答 民間が改修するものは、民間が運営・家賃設定する。市はKPI評価以外は口出ししない。地場産センターは、本市で設定する。

都市再生整備計画事業

2000万円

第2江津中央団地 (仮称) の実施設計業務委託料。

委員質疑

問 家賃はどれぐらいになるのか。

答 入居者の所得によるが、江津中央団地の基準と変わらない。建設資材高騰もあり家賃設定を下げるのは難しい。

地域コミュニティ活性化事業

277万円

谷住郷地域コミュニティ交流センター移転に伴う、トイレ等改修設計業務委託料。

委員質疑

問 設計を外部委託でなく、市職員技師の対応で経費節減は図れないか。

答 トイレ改修や間取り、調理室に変更など改修部分も多く、職員は他業務も抱えている事から判断した。

【最終日追加提案】

令和3年度 一般会計補正予算 (第4号)



補正額 **2億5485万円増額**(総額155億3352万円)

地域の活力創出事業

8382万円減額
(補正後545万円)

有福温泉活性化事業への組み替え。

委員質疑

問 この事業の責任の所在は。

答 事業の是非の判断は、責任の所在でなく、事業の目的・手段が適正か検討し、問題解決に向けて立ち向かうことが責務で、これからどうするかが大切。

有福温泉活性化事業

3億3867万円

空き家旅館などの解体撤去、および有福温泉再生補助金など。

委員会 ピックアップ



総務民生委員会

付託案件はありませんでしたが、小中学校のエアコン設置状況、およびGIGAスクール構想における一人一台のタブレット端末の使用状況について調査を行いました。

エアコン設置状況について

- 小中学校普通教室
100%設置済み。
- 職員室・保健室など
100%設置済み。
- その他特別教室は順番に整備予定。
今年度は郷田・川波・津宮

タブレット端末の使用状況について

- 全ての小中学校に整備済み。
- 児童・生徒にIDパスワードが必要なためカードを作り配布。
- 指導主事が各学校をまわり校内研修を行っている。
- 使用におけるルールを周知し、少しずつ利用を開始している。
- 今年度は児童・生徒および教員が試してみることを目標としている。

建設経済委員会

●江津市中小企業等持続化応援金(第3弾)【陳情】

企業への持続化応援金を状況に応じて速やかな実施を求めるもの。

委員質疑

- 問** すぐにでも、地方創生臨時交付金で対応することができるのか。
- 答** 令和3年度の交付金は配分額が2億5000万円。6月補正段階で、すでに1億2400万円措置済み。残額は、商工・教育・子育てなど様々な分野で対応を検討している。

●地域コミュニティ交流センターの設置及び管理(一部改正)

谷住郷地域コミュニティ交流センターを旧谷住郷保育所へ移転することに伴う改正。

委員質疑

- 問** 施行日が7月1日となっているが、トイレの改修工事などがこの度の予算でもあがっている。すぐに施設を運用できるのか。
- 答** 幼児用トイレの改修工事を行うが、現在も大人用トイレが3基あり、コロナ禍ということで催しが開かれていない現状では、運用可能と認識。

議決結果【第3回議会定例会】			坂手	植田	森川	鍛冶	多田	山根	森川	藤間	森脇	石橋	河野	藤田	田中	永岡
			洋介	好雄	和英	恵巳子	仲治	兼三郎	佳英	義明	悦朗	孝義	正行	厚	直文	静馬
執行部提案	議案番号	件名	議決結果													
	同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第5号	教育長の任命について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第1号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第2号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第3号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第4号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第5号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第6号	専決処分報告について	//	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	江津市地域コミュニティ交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	議案第35号	市道の路線の廃止について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	令和3年度島根県江津市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	令和3年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	令和3年度島根県江津市一般会計補正予算(第4号)を定めることについて	//	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
提議案員	陳情第2号	江津市中小企業等持続化応援金(第3弾)に関する陳情	不採択	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●
	議案第39号	特別委員会の設置・委員の選任について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	特別委員会の設置・委員の選任について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

新しい議場での議会が始まりました

新庁舎に移転し、今回の議会定例会から議場も変わりました。
新しく電子採決のシステムが導入されました。
また、議場の机・椅子は全て可動式です。
議会の閉会中は市民の皆さんが様々なイベントなど利用できるようになっています。



多目的ホールとして利用できる議場



電子採決システム

☆特別委員会を設置しました☆

- **議会活性化特別委員会**
(議会活性化の調査研究に関すること)
- ◎委員長 森脇 悦朗
- 副委員長 坂手 洋介
- 委員 議長を除く全議員

- **江の川流域治水対策特別委員会**
(江の川流域治水対策の調査研究に関すること)
- ◎委員長 藤田 厚
- 副委員長 森脇 悦朗
- 委員 議長を除く全議員

本会議における賛成・反対意見

承認第6号 | 専決処分 令和3年度一般会計補正予算(第2号)

承認

反対 多田 伸治

専決処分の補正予算には、サテライトオフィス等整備推進事業の費用が計上されている。企業誘致を狙ったものだが、全国で同様の事業が展開されており、誘致に必要な「江津市でなければ」との差別化への説明がない。コロナ禍で市内経済が厳しい時に必要なのは不確かな事業ではなく、地元を応援できる地に足のついた取り組みであるため反対。

陳情第2号 | 江津市中小企業等持続化応援金(第3弾)

不採択

反対 山根 兼三郎

現在、持続化応援金をはじめ、コロナウイルス感染症対策の財源で複数事業を行っている。新型コロナウイルス感染症はいまだ収束が見えず、予防接種や地域の経済状況を把握し、どのような対策がどのタイミングで必要なかを検討する柔軟な対応が必要であり、即日実施を求める陳情には反対。

賛成 多田 伸治

陳情は、本市が実施中のコロナ禍対策『持続化応援金第2弾』について、「十分ではない」「条件が厳しい」として『第3弾』の実施を求めるもの。『第2弾』が届いてない事業者にとって、支援はないも同然で、県の新たな支援も、飲食業限定で条件は『第2弾』より厳しく活用は難しい。地場産業を守るため、市内事業者からの助けを求める声に対し、市議会として手を差し伸べるべきであり賛成。

議案第36号 | 令和3年度 一般会計補正予算(第3号)

可決

反対 多田 伸治

補正予算案には、サテライトオフィス等整備推進事業の費用が含まれるが、企業誘致を狙って全国で同様の事業が取り組まれるなか、「江津市でなければ」とのセールスポイントを示すことができていない。加えて、民間施設のオフィス改修費用や誘致企業への支度金には、市内の中小企業・個人事業主に不公平感があるものとなっているため反対。

賛成 鍛冶 恵巳子

この補正では、サテライトオフィス誘致のための施設整備についての予算が計上されている。本市では、第2次産業の誘致に加え、テレワークなどができる事務系職場の誘致への取り組みが進められている。女性求職者の多くは事務職系を希望しているということもあり、多種多様な業種と若者の求める魅力的なまちづくりにもつながると思われるので賛成。

議案第38号 | 令和3年度 一般会計補正予算(第4号)

可決

反対 多田 伸治

補正予算案には、有福温泉の旅館の改修や廃業した旅館の解体の費用が計上されているが、旅館別の改修・解体の費用は示されていない。実施後の活性化の取り組みや運営主体、旅館以外の空家対策なども具体的に説明されず、責任の所在も明らかではない。この手法ではかつての第3セクター『風の国』と同じ失敗を繰り返す。市議会として事業に「待った」をかけるべきであり反対。

賛成 坂手 洋介

これまでなかった有福温泉への新規企業の参入による宿泊施設の増加、飲食店の開業がある。またプロモーションにより交流人口が増加する見込みがあり、ひいては、商業の活性化、若者や女性の雇用創出が生まれ、さらには、移住者の増加や空き家の解消も望めると考えられる。また、地元自治会の協力も厚く、新しい有福温泉に生まれ変わるチャンスとして期待したいと考え賛成。

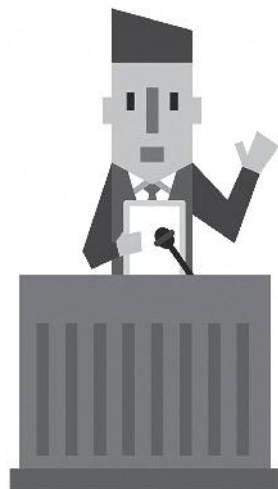
一般質問

市議
の

市
の

A

Q
&



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見るができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

A.

Q.

学校給食費について、文科省は2019年に「公会計化の推進」の通知を出しているが、公会計の導入の考えは、教職員の負担軽減、経理面の透明性、コンプライアンス面の適正化などメリットがある。しかし全国的に26%と進んでいない。その主な理由は、教育委員会側の事務受入体制の問題、業務システムの導入などの

学校給食での地産地消の現状と課題は。
野菜の地産地消率は32.9%で米は100%。課題は、利用頻度の高い食材の作付け拡大と納入時期を合わせることに加えて、生産者と児童・生徒との交流を実施し、食と農業、地産地消の大切さを学び、地産地消の推進に取り組む。

A

Q

学校給食が果たす食育の位置づけと取り組み状況は
学習指導要領にそって指導、生産者との交流や調理実習を行う

A. Q.

子育て世代の教育費負担軽減に、学校給食費の無償化を。
令和2年度、給食費9600万円を徴収。小学校まで無償なら5900万円、小中学校半額補助なら4800万円が必要。財源基盤の弱い本市において新たな財政負担は困難であり、これまで通り保護者に負担していただきたい。



江津学校給食センター



植田 好雄

Q 市独自のPCR検査体制の構築を

A 自費診療で検査を受けられる医療機関なく、考えていない



森川 佳英

Q 感染拡大防止には、ワクチン接種に加え検査による感染者の把握と隔離・療養が必要で、PCR検査を「いつでも・誰でも・何度でも」受けられる体制を行政が構築すべき。

千葉県松戸市は、感染の不安のある人がPCR検査を受けやすいよう、全市民を対象に検査費用の助成を行っている。適切な検査が早期発見・拡大防止につながる。本市でも実施を。

A 市内に自費診療でPCR検査を受けられる医療機関がない。発熱などの症状があれば、かかりつけ医や新型コロナウイルス感染症健康相談コールセンターへ相談し、医療機関や検査センターが紹介される。検査を受けやすく、不安にすぐ対応できる体制がある。

Q 必要性の高い人への検査が重要で、無症状の感染者を捕捉する社会的検査が不可欠。感染の後追いではなく、集団感染のおそれがあるところ

でスクリーニング検査、定期的なモニタリング検査などを実施すべきではないか。

現在、本市は感染拡大地域ではなく、ワクチン接種も順調で、今のところ全市民対象のPCR検査の実施は考えていない。

A

県内8市の65歳以上のワクチン接種状況
(6月28日時点)

	対象者数	接種率(%)	
		1回目	2回目
江津市	9,584	79.0	50.8
松江市	62,012	50.0	15.7
浜田市	20,222	61.3	28.8
出雲市	54,477	53.5	19.3
益田市	18,063	68.0	8.1
大田市	14,200	67.3	26.8
安来市	14,401	46.3	19.0
雲南市	15,162	39.4	10.6

Q 江津市の水道料金は全国で一番高いのか

A 全国や県内平均と比較して高い位置にある



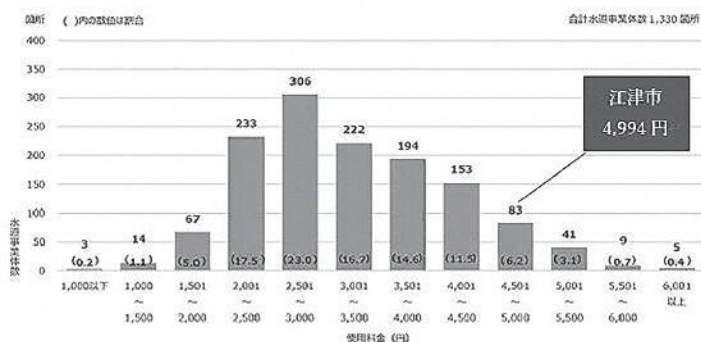
山根 兼三郎

Q 本市の水道料金について、将来どのように試算しているか。

昭和63年以降、長年の経営努力により、平成3年度と平成23年度に料金の引き下げを行った。令和8年度まで現行の水道料金のままで維持できると試算している。その後は人口減少による給水収益が減少する一方、水道施設や設備の更新・改良に多額の資金が必要となり、料金改定の検討が必要と考える。

Q 【キャッシュレス決済】市民の利便性向上、非接触による新型コロナウイルスの感染予防など、キャッシュレスによる公共料金支払いを導入してはどうか。

A 市税・国保料・保育料などで、電子マネーでの支払いを10月に運用開始する予定。納付書



全国水道料金 (家庭用20㎡あたりの使用料金 円/月) 日本水道協会より

Q 都市計画マスタープランの役割は

A 将来のまちづくりを総合的にまとめた指針

Q 都市計画マスタープランの位置づけは。

A 第6次総合振興計画・江津市版総合戦略などと整合性をとりながら、策定している。

A.Q 策定された内容は。

土地利用・都市環境の形成・まちの魅力創出など7分野の基本方針に加え、新たに桜江地区の地域構想を定め、重点プロジェクトとして掲げている。

A.Q 都市計画審議会が非公開とするとなっている。今後の扱いは。

A 申し入れがあった場合、公開をする方向で運営していく。

A.Q 地域住民との連携は。

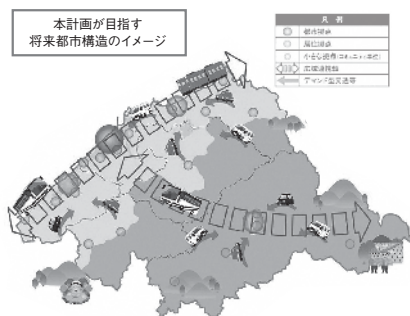
A 東部・中部・西部・桜江の4地区に分け、コミュニティとともに展開する。

「ヤングケアラーの認識」

A.Q ヤングケアラーとは。本来、大人が担う家事や介護などを日常的に行っている子どもとされている。

A.Q 支援体制は。

要保護児童対策地域協議会や福祉・教育などの情報連携会議において、「ヤングケアラー」の社会課題の認識や情報共有に努め、連携・支援体制を強化する。



本計画が目指す将来都市構造のイメージ



森川 和英

Q 新型コロナウイルスワクチン接種は順調か

A 6月15日時点で接種率は6割を超えている

Q 65歳以上のワクチン接種の状況は。

A 6月15日時点で1回目接種者5767人(60%)、2回目接種者2840人(30%)と順調に進んでいる。江津市医師会や済生会江津総合病院など、市内の全医療機関に感謝したい。

7月1日時点で1回目接種者7853人(84%)、2回目接種者5215人(56%)。

A.Q 障がいのある方への対応は。

A ケアマネージャーや民生委員などへの説明会を行い、地域ぐるみで支援をしていたい。

A.Q 免許証を持たない高齢者などへ、交通費の助成はどうか。

A 本市運行の生活バスでは、接種券提示で運賃が無料。



ワクチン接種を受ける高齢者

A.Q 64歳以下の接種は。

A 平日仕事の方も接種しやすいよう、休日の集団接種を計画。

A.Q 中高生への接種は。

A 高校生については学校・学校医と協議中。中学生は保護者同伴が必要なため、個別接種の予定。



河野 正行

Q 熱中症対策を踏まえた
学校でのマスクの着用指針を

A 換気や十分な距離が取れれば
マスクを外す対応をする

Q 熱中症対策として、授業中

も水分補給をすることはで
きなのか。

A 必要な状況であれば教員から

の促し、あるいは児童・生徒
自らが判断して水分補給でき
るよう、柔軟な対応を周知し
ていきたい。

「GIGAスクール構想」

A.Q. 機器の導入状況は。

令和2年度に市内全ての小中
学校の児童・生徒へ、1人1台
の端末がいきわたるよう、整
備が完了している。

A.Q. 現在の端末の利用状況は。

指導主事が各学校を回り、基
本的な取り扱いについて、校内
研修を行っている。

A.Q. 今後の端末利用は。

まずは、決められたルールを
守る力を身に付けてほしい。
その上で、端末を主体的に使
用していける場面が広がると
考えている。持ち帰りによる
学習も含めて、より効果的な
活用方法・活用場面を模索し
ながら、子どもたちの学びへ
活かしていきたい。



市内の小中学校に配備されたタブレット端末



坂手 洋介

Q 婚活支援『しまこ』の新庁舎
での閲覧場所の周知を

A ホームページに閲覧会場の情
報を掲載し周知に努める

Q 婚姻数・出生数を、2025

年に向けて平均130人に
していくという目標。平成30
年度が132人だが、令和元
年度・令和2年度の状況とコ
ロナ禍の影響は。

A 婚姻数は令和元年度が70件、

令和2年度が75件。出生数は
令和元年度が117人で令和
2年度も同数。本市ではコロ
ナ禍の影響はあまりない。

Q ワーク・ライフ・バランスを

推進するため、企業への妊娠
出産に対する理解を進める
啓発・働きかけを。

A 職場づくりセミナーなどの、

企業魅力向上セミナーを展開
し、啓発を進めている。令和2
年2月には、市内事業所で初
となるユースエール企業認定
もあった。



鍛治 恵巳子

ユースエール企業認定とは
若者の採用・育成・雇用・管
理などが優良で、正社員の有
給休暇取得数など12の基準
をクリアする事で認定される
厚労省の制度。



初のユースエール企業認定を受けた永井建設(株)

「男女共同参画」

A.Q. 今後の計画推進は。

本計画や関連する法の趣旨
を踏まえ、性別に関係なく個
性と能力を十分に発揮できる
職場づくりに取り組む。

Q 新設された江の川流域治水推進室の取り組みは

A 下流域を緊急対策特定区間とし、事業推進を加速させる



田中 直文

Q 江の川の無堤防地区では、平成30年・令和2年と大雨で甚大な被害を受けた。雨期を迎えているが、早急な治水対策を。

A 4月に国・県・関係市町で『江の川流域治水推進室』を開設した。緊急対策特定区間を中心に、概ね10年間で250億円を投じるもので、令和3年度は20億円が予算措置されており、本川・支川の事業推進の加速化を図る。

Q 激甚化・頻発化する水害への具体的な対策は。

A 堤防整備・宅地かさ上げ・河道掘削・樹木伐採に加え、利水ダムを含む江の川本川や支川の9つのダムでの事前放流などを行う。事業継続区間の上大貫・和田地区は築堤方式による事業推進を図る。

Q 人口減少が避けられない状況だが、この機会に地域住民の声を反映し、持続可能なまちづくりと河川整備が一体となった治水対策を。

A 江の川下流域の河川整備と住民の意向を集約したまちづくりを一体とした『マスタープラン』を練り、スピード感をもって事業を推進する。



大型土のうによる仮締切(渡田地区)

Q 築堤・宅地かさ上げ・移転について予定・費用の詳細の明示を

A 国へ事業期間や比較検討できる資料の提示を求めている



多田 伸治

Q 江の川の無堤防地区での、築堤・宅地かさ上げ・移転の協議について、定期的な協議・資料作成・情報提供・住民への協議内容の周知・他地域との連携など、行政としての支援を。

A 早期対応が可能となるよう、きめ細かく支援したい。

Q ある地域は移転に向けた要望書を提出し、書面での回答を求めたが、2カ月経っても回答がないのはなぜか。

A 国交省が江の川河川整備計画の概略を示してから回答するつもりだった。早急な回答が求められているため、対応を検討する。

Q 防災移転事業について、「市がトーンダウンしている」との声や事業が進まないのでは

はないかとの懸念がある。どうなるのか。

A まちづくりを考慮した治水対策の『マスタープラン』を策定し、事業を推進する。

Q 『マスタープラン』の策定は令和4年度の予定。「まちづくり」のために移転を1年待たせるのか。

A 『マスタープラン』に移転も含めるので加速化につながる。



無堤防集落(元折地区)

表彰

全国市議会議長会

●正副議長歴4年以上 森脇 悦朗 議員

●議員歴15年以上 石橋 孝義 議員
森脇 悦朗 議員



議長就任

永岡 静馬

この度、議長に就任いたしました永岡静馬です。責任の重大さに身の引き締まる思いであります。この上は、浅学非才の身ではありますが、全力で職責を努めてまいり所存であります。任期1年という短い期間ではありますが、「議会の見える化」や「議会の魅力化」など、市民に寄り添うことができる議会を目指し、さらには、市議会本来の役割である「チェック機能」「議決機能」「政策立案能力」の強化に努めてまいります。健全、建設的で前向きな議論のある議会をめざして、さらなる「議会改革」をすすめていく決意です。どうか、市民の皆さまの一層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

次回9月定例会

請願・陳情締切／8月23日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
8/22	23	24 委員会 (議会運営) 9:30～	25 全員協議会 9:30～	26	27	28
29	30 委員会 (議会運営) 15:00～	31	9/1 本会議 10:00～	2	3 議員連絡会 9:30～	4
5	6	7 本会議 (一般質問) 10:00～	8 本会議 (一般質問) 10:00～	9 委員会 (総務民生) 9:30～	10 委員会 (建設経済) 9:30～	11
12	13 委員会 (予算決算) 9:30～	14 委員会 (予算決算) 9:30～	15 委員会 (予算決算) 9:30～	16 委員会 (予算決算) 9:30～	17 委員会 (予算決算) 9:30～	18
19	20	21 情報交換会 9:30～	22	23	24 本会議 14:00～	25

※開始時間等は予定です。

議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴を待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう

市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

編集・発行責任者

議長 永岡 静馬

市議会だより編集特別委員会

委員長 鍛冶 恵巳子
副委員長 坂手 洋介
委員 植田 好雄
委員 多田 伸治
委員 山根 兼三郎
委員 森脇 悦朗
委員 河野 正行

市議会だよりは
こちらから



(山根 兼三郎)

新庁舎で初めての議会が行われました。これまでの起立や挙手採決が、電子採決になるなど、新たなこともありましたが、多目的ホールを兼ねる議場は、本会議のほかに、全員協議会、予算決算委員会が行われます。
旧庁舎の傍聴席は4階にありました。エレベーターもなく、興味があってもお出かけづらかったと思います。新庁舎の傍聴席は議場と同じ2階にあり、議員の顔が見える位置にあります。議会の様子はケーブルテレビで放映されていますが、実際はまた違う印象を持たれると思います。私達もさらなるモチベーションアップにもつながりますので、ぜひ一度議場へ傍聴しに来てみませんか。

編集後記